

港区 ミュージアム ネットワーク

No.36

230912

2023年9月～2024年2月 展覧会情報

港区ミュージアムネットワークは、区内に所在する博物館施設が相互に連携・協力して、広く情報を発信し、区民及び区を訪れる人々の豊かで充実した暮らしを実現することを目的として設立されました。



招待券プレゼント

※詳しくは本誌15ページをご覧ください。

ホームページご利用のご案内

本誌では、2023年8月21日現在の情報を掲載しています。最新情報は、各館のホームページにてご確認ください。

また、下記の「港区ミュージアムネットワーク」ポータルサイトからも加盟館の展覧会情報等をご覧ください。

PC・スマホからご利用ください。

<https://www.minato-rekishi.com/musenet/>



Museum Schedule

*常設展示 …… ○：常時観覧可 △：展覧会開催時のみ観覧可 -：常設展示なし

	常設展示*	9月	10月	11月
01 秋山庄太郎写真芸術館	-	長期休館中。撮影会・ワークショップなどの催しや今後の展示予定については、ホームページ等でご案内いたします。		
02 味の素食の文化センター 食の文化ライブラリー	○			
03 アドミュージアム東京	○	長期休館中。再開予定については、ホームページ等でご案内いたします。		
04 NHK放送博物館	○			
05 大倉集古館	-	～ 10/22(日) 恋し、こがれたインドの染織	11/2(木) ～ 11/5(日) アートウィーク東京 特別展覧会	11/15
06 岡本太郎記念館	○	～ 11/26(日) 令和の蔵出し		
07 外務省 外交史料館	○	～ 9/29(金) 日本とペルー 外交関係樹立150周年	移転のため、10月以降、展示室は一時的に閉鎖いたします。新展示室については、ホームページ等でご案内いたします。	
08 菊池寛実記念 智美術館	-		9/30(土) ～ 11/26(日) 陶芸の進行形	
09 気象庁 気象科学館	○			
10 北里柴三郎記念館	○	～ 10/31(火) 北里柴三郎博士特別展 ～ 10/6(金) 110年前の感染症予防ポスターを見てみよう		11/5(日) ～ 3/31(月)
11 旧新橋停車場 鉄道歴史展示室	△	～ 11/12(日) 鉄道と制服		
12 共同通信社 ニュースアート	○	～ 1月下旬(予定) 大宇宙へ 天空絶景① ～ 9/28(木)(予定) ユリヤ・ボンダレンコ展(仮)③	9/30(土) ～ 10/31(火) 第17回しおどめ祭「世相漫画展」③	11/4(土) ～ 11/25(土)(予定)
13 慶應義塾大学アート・センター	-		10/10(火) ～ 1/26(金) Artist VoiceⅢ: 駒井哲郎	
14 福澤諭吉記念 慶應義塾史展示館	○	9/20(水) ～ 10/7(土) 三田につるの屋があった頃。 10/19(木) ～ 12/16(土) 曾禰中條建築事務所と慶應		
15 慶應義塾ミュージアム・コモンズ	-		10/2(月) ～ 12/1(金) 臥遊(がゆう)―時空をかける禅のまなざし	
16 国立科学博物館附属 自然教育園	○	9/7(木) ～ 10/1(日) 第39回植物画コンクール入選作品展	10/5(木) ～ 11/12(日) 自然教育園の四季と生きものたち	11/
17 国立新美術館	-	～ 10/2(月) テート美術館展 光 9/20(水) ～ 12/11(月) イヴ・サンローラン展		11/1(水) ～ 12/25(月) 大巻伸嗣展(仮)
18 サントリー美術館	-	～ 9/18(月・祝) 虫めづる日本の人々	10/11(水) ～ 12/3(日) 激動の時代 幕末明治の絵師たち	
19 赤十字情報プラザ	○	～ 3/28(木) 関東大震災100年 温故備震		
20 泉屋博古館東京	-	9/2(土) ～ 10/15(日) 楽しい隠遁生活		11/2(木) ～ 12/17(日) 日本画の
21 泉岳寺 赤穂義士記念館	○			
22 増上寺宝物展示室	○	12月下旬まで休館		
23 TEPIA 先端技術館	○			
24 21_21 DESIGN SIGHT	-	～ 11/5(日) Material, or		
25 東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム	○	～ 11/6(月) 超深海へのトビラ		
26 東京都庭園美術館	-	～ 9/3(日) フィンランド・ガラスアート	9/23(土) ～ 12/10(日) 装飾の庭	
27 東京都立中央図書館	-	～ 10/4(水) 本でたどるエジプト		10/28(土) ～ 11/12(日) 描かれた江戸城
28 東京ミッドタウン・デザインハブ	-	9/1(金) ～ 10/19(木) 日本のグラフィックデザイン2023	10/25(水) ～ 10/29(日) Good Design	
29 TOTOギャラリー・間	-	9/14(木) ～ 11/26(日) 西澤徹夫 偶然は用意のあるところに		
30 虎屋 赤坂ギャラリー	-		10/1(日) ～ 11/23(木・祝) 「和菓子の〈はじめて〉物語」展	
31 ニコンミュージアム	○	～ 2/29(木) AI NIKKORの魅力		
32 根津美術館	-	9/2(土) ～ 10/15(日) 甲冑・刀・刀装具		11/3 (金・祝) ～ 12/3(日)
33 畠山記念館	-	長期休館中		
34 パナソニック汐留美術館	△	～ 9/18(月・祝) 中川衛	10/7(土) ～ 12/17(日) コスチュームジュエリー	
35 フジフィルム スクエア	○	～ 9/27(水) 高橋宣之写真展	9/28(木) ～ 12/28(木) 生誕90年記念細江英公作品展	
36 物流博物館	○		9/22(木) ～ 10/12(水) 広川泰士写真展	
37 紅ミュージアム	○	9/5(火) ～ 10/14(土) 手仕事ギャラリー 5 colors 9/12(火) ～ 10/28(土) テーマ展示 必見!真綿の綿帽子		10/31(火) ～ 1/下旬 テーマ 展示
38 マクセル アクアパーク品川	○	～ 10/22(日) NAKED 火花アクアリウム		
39 松岡美術館	△	～ 10/9(月・祝) モネ、ルノワール 印象派の光 / 江戸の陶磁器 古伊万里展	10/24(火) ～ 2/11(日) アメイジング・チャイナ	
40 港区立郷土歴史館	○	～ 9/18(月・祝) 港区たてものウォッチング	10/14(土) ～ 12/10(日) ある図案家の仕事	
41 港区立みなと科学館	○	～ 9/10(日) 科学で楽しむ妖怪展		
42 明治学院歴史資料館	○	～ 1/9(火) 賀川豊彦と明治学院		
43 森美術館	-	～ 9/24(日) ワールド・クラスルーム	10/18(水) ～ 3/31(日) 私たちのエコロジー	
44 ヤマトグループ歴史館 クロネコヤマトミュージアム	○			
45 ヨックモックミュージアム	△	～ 9/24(日) ヒカソのセラミック・モダンに触れる	10/24(火) ～ 2024/9/23(月・祝) ヒカソ	

ミュージアムスケジュール

	12月	1月	2月	
				写真芸術館 Shimizu Museum of Photography Art Museum
				味の素食の文化センター Ajinomoto Museum of Food Culture
				アド ミュージアム 東京
				放送博物館
				大倉集古館
				岡本太郎記念館
				外交史料館
				菊池寛実記念 智美術館 Kikuchi Kan Memorial Chiji Museum of Art
				気象科学館 Metereological Science Museum
				北里研究所 THE KITABATA INSTITUTE
				旧新橋停車場鉄道歴史展示室
				NewsArt.
				東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO
				慶應義塾大学 KEIO UNIVERSITY
				Keio Museum Commons Co 慶應義塾ミュージアム・コモンズ
				自然教育園
				新 国立新美術館 THE NATIONAL ART CENTER TOKYO
				サントリー美術館 SUNTORY MUSEUM OF ART
				赤十字情報プラザ
				泉屋博古館東京 SEN-OKU MUSEUM TOKYO
				泉岳寺 赤穂義士記念館
				増上寺宝物展示室
				TEPIA 先端技術館
				21_21 21_21 DESIGN SIGHT
				東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム
				東京都庭園美術館 Tokyo Metropolitan Teien Art Museum
				東京都立中央図書館
				TOKYO MIDTOWN DESIGN HUB
				TOTO ギャラリー・間
				虎屋 赤坂ギャラリー
				NIKON MUSEUM
				津屋文子 Hatanaka Museum of Fine Art
				パナソニック 汐留美術館 Panasonic Museum of Art & Design 2024 パナソニック 汐留美術館
				FUJIFILM SQUARE フジフィルム スクエア
				物流博物館 MUSEUM OF LOGISTICS
				紅ミュージアム BENI MUSEUM
				AQUA PARK Matsuda Museum of Art
				松岡美術館 Matsuda Museum of Art
				港区立郷土歴史館
				港区立みなと科学館
				明治学院歴史資料館
				MODERN ART MUSEUM MODERN ARTS CENTER
				ヤマトグループ歴史館 Kurinokoyamato Museum クロネコヤマトミュージアム
				YOKU HOKU MUSEUM

01 秋山庄太郎写真芸術館

あきやましょうたろうしゃしんげいじゅつかん

港区南青山4-18-9 ☎03-3405-8578
http://akiyama-shotaro.com/



長期休館中

ポートレートや花の作品などで知られる写真家・秋山庄太郎（1920-2003）のアトリエを改装したミュージアム。現在、休館中ですが、ホームページで撮影会の催しや「花」写真コンテスト公募などをご案内しています。



秋山庄太郎



クレマチス（撮影：秋山庄太郎）

02 味の素の文化センター 食の文化ライブラリー

あじのもとしよくのぶんかセンター しよくのぶんかライブラリー

港区高輪3-13-65（味の素グループ高輪研修センター内） ☎03-5488-7319
https://www.syokubunka.or.jp/ ☎10:00～17:00
☑日曜日、祝休日、年末年始（12/28～1/3）、当館指定日 ☑無料



通年

常設展示 日本の食文化

錦絵パネルや映像などをご覧いただきながら、日本の食文化の歴史が楽しく学べます。季節と食の関わりでは「秋」のコーナーで、雑誌『料理の友』の大正時代の記事から再現した、家庭向け菓子レプリカもご覧いただけます。



『料理の友』大正7年11月号



記事より再現した大正時代の菓子

03 アドミュージアム東京

アドミュージアムとうきょう

港区東新橋1-8-2 カレッタ汐留 ☎03-6218-2500 https://www.admt.jp/
☎12:00～18:00
☑日曜日、月曜日（その他年末年始などの臨時休館あり） ☑無料



通年 ※休館中 再開予定については、ホームページ等でご案内いたします。

常設展示

タレント広告やSNSの原点が垣間見られる江戸時代の広告から社会課題に果敢に取り組む現代の広告まで、約33万点の収蔵資料から選りすぐりの広告を展示しています。併設されたライブラリーでは、広告・マーケティングに関する専門図書のほか、デジタルアーカイブも検索・閲覧いただけます。なつかしい広告を見て笑ったり、感動したり、新しいアイデアに驚いたり。広告に興味がなかった！という人も楽しめる内容になっています。



常設展示室

04 NHK放送博物館

エヌエイチケイほうそうはくぶつかん

港区愛宕2-1-1 ☎03-5400-6900 https://www.nhk.or.jp/museum/
☎10:00～16:30
☑月曜日（祝休日の場合は翌平日）、年末年始（12/25～1/3） ☑無料



通年

常設展示

NHK放送博物館は、1956年に、世界最初の放送専門のミュージアムとして、“放送のふるさと”愛宕山に開館しました。当館では、放送の歴史に関するさまざまな実物展示をはじめ、だれもが自由に利用できる「番組公開ライブラリー」や「体験スタジオ」なども公開しています。



05 大倉集古館

おおくらしゅうこかん

📍港区虎ノ門2-10-3 📞03-5575-5711 🌐<https://www.shukokan.org/>
 🕒10:00～17:00 🗓️月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/1)
 🎫一般1,000円、大学・高校生800円



11/15(水)～1/14(日)

企画展 大倉組商会設立150周年記念 偉人たちの邂逅—近現代の書と言葉

大倉喜八郎や喜七郎と交流をもった日本中国の政治家、軍人、文人らの書を展示し、大倉財閥150年をめぐる偉人たちの交流の跡を示す書の数々を展示します。



「感涙会の歌」大倉喜八郎筆、大正・20世紀

1/23(火)～3/24(日)

企画展 大倉集古館の春

新年を迎え新春を寿ぎ、来る春を待つ時期に相応しい当館所蔵品を中心とした展覧会です。干支にちなんだ作品や、名品横山大観「夜桜」などを展示します。



「夜桜」(左隻) 横山大観筆、昭和4年(1929)

06 岡本太郎記念館

おかもとたろうきねんかん

📍港区南青山6-1-19 📞03-3406-0801 🌐<https://taro-okamoto.or.jp/>
 🕒10:00～17:00 🗓️火曜日(祝休日の場合は開館)、年末年始(12/28～1/4)
 🎫一般650円、小学生300円



開催中～11/26(日)

開館25周年記念 令和の蔵出し



開館25周年を記念する本展では、まだ一度も公開していない50年代初頭の油彩や未発表彫刻の原型など、太郎史に刻まれるべき貴重な作品群を一挙に蔵出しいたします。



玄想



題不詳

07 外務省 外交史料館

がいむしょうがいこうしりょうかん

📍港区麻布台1-5-3 📞03-3585-4511 🌐<https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/honsho/shiryo/> 🕒10:00～17:30
 🗓️土曜日、日曜日、祝休日 ※10月以降、展示室は一時閉室 🎫無料



通年 ※10月以降一時閉室

常設展示

幕末以降の日本外交の足跡を示す代表的な条約書等のほか、吉田茂元総理の遺品を展示しています。

※移転のため、10月以降一時閉室いたします。
 新展示室については、ホームページ等にてご案内いたします。

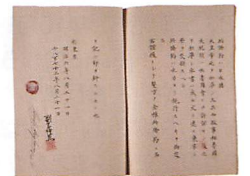


別館展示室

開催中～9/29(金)

特別展示 日本とペルー 外交関係樹立150周年

2023年は日本とペルーの国交樹立150周年の節目の年にあたります。本展示では、国交樹立、日本人移民の送付、日系人社会の発展など、両国の交流の歴史を、150年前に結ばれた条約書など外務省所蔵史料を通してご紹介します。



日本国秘魯国和親貿易航海仮条約(調印書)

08 菊池寛実記念 智美術館

きくちかんじつぎねん ともしじゅつかん

📍港区虎ノ門4-1-35 📞03-5733-5131 🌐<https://www.musee-tomo.or.jp/>
 🕒11:00～18:00 🗓️月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始(12/28～1/1)
 🎫一般1,100円、大学生800円、小・中・高生500円



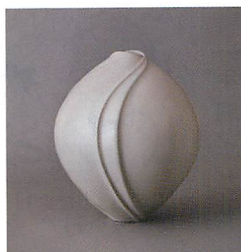
9/30(土)～11/26(日)

陶芸の進行形



現在進行形で変化、発展する陶芸作品を紹介する展覧会。40代～30代後半の世代を中心に25名の陶芸家をノミネート。陶芸への独自視点と多様なカルチャーを反映させた作品約50点。

中田博士「真珠光彩壺」2016年



12/16(土)～3/17(日)

第10回菊池ビエンナーレ 現代陶芸の今



現代陶芸の振興を目的に2004年度から隔年で開催している公募展。年齢や制作内容に制限なく陶芸作品を募り、審査によって選ばれた作品を一堂に展示します。制作者の創意と技術が結実した多彩な作品をご覧ください。



09 気象庁 気象科学館

きしょうちょう きしょうかがくかん

港区虎ノ門3-6-9 ☎03-6758-3900(代)

🌐<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/intro/kagakukan.html>

🕒9:00～20:00

🗓毎月第2月・火曜(月曜が祝休日の場合は、火・水曜)、年末年始(12/29～1/3)

🆓無料



通年

常設展示

気象科学館では、気象の観測機器や日本の四季・自然・気象を体感できるシアター、防災に関する知識を学ぶコンテンツなどを揃えています。また、気象予報士の資格を有する解説員が常駐していますので、疑問に思っていることなど直接聞いていただくこともできます。



10 北里柴三郎記念館

きたさとしばさぶろうきねんかん

港区白金5-9-1 ☎03-5791-6103

🌐<https://www.kitasato.ac.jp/jp/kinen-shitsu/>

🕒10:00～17:00

🗓土曜日、日曜日、祝休日、年末年始(12/29～1/3)

🆓無料



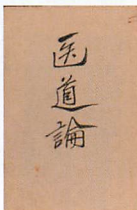
開催中～10/31(火)

特別展 北里柴三郎博士特別展

～未来への挑戦、原点は北里柴三郎～

北里柴三郎博士が学生時代に記した、彼の医学に対する原点である「医道論」を起点として、予防医学発展や感染症の撲滅に向けた実践を展示・解説します。新千円札肖像の元となった4枚の肖像写真もご覧いただけます。

医道論



開催中～10/6(金)

特別展

110年前の感染症予防ポスターを見てみよう

110年前に製作され、当時の状況を鮮明に描いた感染症予防ポスターを展示します。当時流行していた感染症「トラホーム」、「ペスト」および「家庭内感染」についてポスターを通して学ぶことができます。

感染症予防ポスター



11 旧新橋停車場 鉄道歴史展示室

きゅうしんばしていしやじょう てつどうれきてんじしつ

港区東新橋1-5-3 ☎03-3572-1872

🌐<https://www.ejrcf.or.jp/shinbashi/>

🕒10:00～17:00 🗓月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3)、

展示替期間 🆓無料



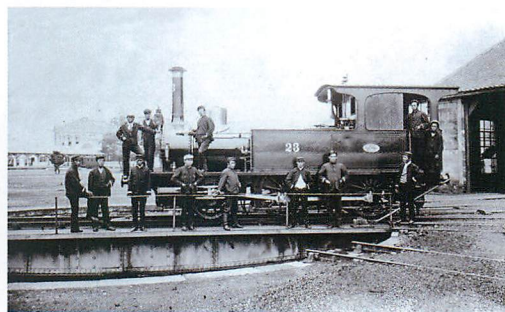
開催中～11/12(日)

第61回企画展

鉄道と制服～ともに歩んだ150年～

1872(明治5)年10月14日、新橋～横浜間に日本で最初の鉄道が開業しました。最初に定められた制服はわずか6種でしたが、その後の鉄道の発達や世相を反映しながら度重なる改定を繰り返し、今日に至っています。本展では、明治以来の国有鉄道およびJR東日本の制服を中心に、鉄道の歴史をふまえながら制服のたどってきた道のりを振り返ります。

最初の日本人機関方 1879(明治12)年 鉄道博物館所蔵



12 共同通信社 ニュースアート

きょうどうつうしんしゃ ニュースアート

港区東新橋1-7-1 ☎03-6252-8000(道案内のみ)

🌐<https://www.kyodonews.jp/>

🕒平日9:00～19:00、土日祝休日10:00～18:00 🗓開催期間中無休 🆓無料



9/30(土)～10/31(火)

共同通信配信

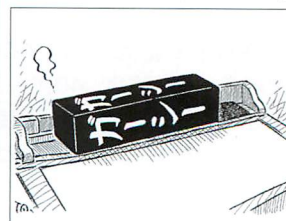
第17回しおどめ発 世相漫画展

共同通信が毎日1枚配信している、1コマ漫画「世相パック」。過去1年間の作品から約40点を展示する「しおどめ発 世相漫画展」を今秋も開催します。今回、多く取り上げられたテーマは、新型コロナ、ウクライナ侵攻、旧統一教会問題やマイナンバーカードなど。多くのニュースが決着しないままです。終わらない。ニュースに、7人の漫画家がオチをつけます。ぜひ、ご鑑賞ください。 ※最終日は16:00まで



「このバイトだよ！」
(小菅りや子)

信なくば立たず
(あらい太朗)



13 慶應義塾大学アート・センター

けいおうぎじゅくだいがくアート・センター

港区三田2-15-45 ☎03-5427-1621 <http://www.art-keio.ac.jp/>
 11:00～18:00 ☎土曜日、日曜日、祝休日、10/16、年末年始(12/28～1/10)
 ※10/14は開館 ※大学の年間スケジュールにより休館となる場合があります 無料



10/10(火)～1/26(金)

Artist VoiceⅢ: 駒井哲郎

線を刻み、線に遊ぶ

駒井哲郎は慶應義塾普通部在学時に版画の制作を始め、銅版画による表現を生涯一貫して探求し、日本における銅版画のパイオニアと評されています。本展覧会では、慶應義塾の所蔵品より、版画作品のほか、駒井が本学の機関誌『三田評論』『塾』に提供した挿図原画や駒井哲郎関連資料を展示します。インクと紙が織り成す詩情とユーモア漂う駒井哲郎の世界をご堪能ください。



慶應義塾大学アート・センター所蔵 駒井哲郎 資料

14 福澤諭吉記念 慶應義塾史展示館

ふくざわゆきちねん けいおうぎじゅくしてんじかん

港区三田2-15-45 ☎03-5427-1200 <https://history.keio.ac.jp/>
 10:00～18:00 ☎日曜日、祝休日、10/18、年末年始(12/28～1/5)
 無料



9/20(水)～10/7(土)

特別企画

三田につるの屋があった頃。

慶應義塾は1871年に三田へ移転し、以来150年以上この地で三田の街とともに時を過ごしてきました。本展では学生街と学校の関係を1960年代後半から半世紀の間学生・教職員が集った居酒屋「つるの屋」を通じて考えます。



慶應関係団体のペナントが壁一面に並ぶつるの屋店内

10/19(木)～12/16(土)

企画展

曾禰中條建築事務所と慶應義塾Ⅱ 昭和編

曾禰中條建築事務所は慶應義塾の個々の建築だけでなく、日吉キャンパス創設、震災からの三田キャンパス復興計画など全体構想にも関与しました。本展では学校建築をめぐる施主と建築家の協同と相克を考えます。



慶應義塾大学々部校舎基本設計鳥瞰図

15 慶應義塾ミュージアム・コモンズ

けいおうぎじゅくミュージアム・コモンズ

港区三田2-15-45 ☎03-5427-2021 <https://kemco.keio.ac.jp/>
 11:00～18:00 ☎土曜日、日曜日、祝休日、年末年始(12/28～1/4)
 ※大学の年間スケジュールにより休館となる場合があります 無料



10/2(月)～12/1(金)

常盤山文庫×慶應義塾

臥遊(がゆう)―時空をかける禅のまなざし

慶應義塾にコレクションの一部が寄託されている常盤山文庫の創立80周年を記念し、常盤山文庫および慶應義塾の禅宗の美術品を紹介し、僧侶があこがれた聖人、心に思い描いた山水の世界に入り込み、室中にありながら、その世界に遊ぶ「臥遊」の境地を楽しんでいただけたら幸いです。



雪舟等楊筆「山水図」、室町時代(15世紀)、慶應義塾所蔵(センチュリー赤尾コレクション)

1/9(火)～2/8(木) (予定)

KeMCo新春展2024

竜の飛ぶ空き地(仮)

2024年の干支は「辰」。慶應義塾のコレクションに表された竜の作品を通して、新年の幕開けを祝いましょう。



「神人龍虎画像鏡」後漢時代(2世紀)、慶應義塾所蔵(センチュリー赤尾コレクション)

16 国立科学博物館附属 自然教育園

こくりつかがくはくぶつかんふぞく しぜんきょういゅえん

港区白金台5-21-5 ☎03-3441-7176 <https://ins.kahaku.go.jp/>
 9:00～16:30 ☎月曜日(祝休日の場合は翌平日)、祝日の翌日(土日の場合は開園)、年末年始(12/28～1/4) 一般320円、高校生以下・65歳以上無料



通年

常設展示

大都会で自然に親しむ

自然教育園は、大都市「東京」の中心部にあって今なお豊かな自然が残る、貴重な森林緑地です。自然を活かした植物園が整備されており、四季にわたって様々な草花や、昆虫などの生きものを身近に観察できます。



国立科学博物館附属自然教育園

9/7(木)～10/1(日)

企画展

第39回植物画コンクール
 入選作品展 ―受賞作品展―

国立科学博物館筑波実験植物園において行っている植物画コンクールの入選作品の中から、文部科学大臣賞、国立科学博物館長賞、筑波実験植物園長賞、計9点を展示します。



17 国立新美術館

こくりつしんびじゅつかん

港区六本木7-22-2 ☎050-5541-8600(ハローダイヤル) 🌐https://www.nact.jp/
 10:00～18:00(金・土曜日は20:00まで)
 火曜日・年末年始(12/26～1/10) (祝日の場合は翌平日)
 ①一般2,300円、大学生1,500円、高校生900円 ②未定



9/20(水)～12/11(月) ※①

イヴ・サンローラン展 時を超えるスタイル

本展は、ブランド初のコレクション、そして独自のスタイルを確立するまでを、イヴ・サンローランによるルック110体のほかアクセサリー、ドローイング、写真を一堂に集めて紹介する、没後日本初の大回顧展です。

カクテル・ドレス・ピート・モンドリアンへのオマージュ
 1965年秋冬オートクチュールコレクション
 顧客のための仕立服 アトリエ・ブランシュ
 © Yves Saint Laurent © Alexandre Guirkingier



11/1(水)～12/25(月) ※②

大巻伸嗣展(仮)

大規模なインスタレーションで国際的に活躍する美術家、大巻伸嗣(1971年岐阜県生まれ、神奈川県在住)による、時間と空間を体感させる圧倒的スケールの個展です。

大巻 伸嗣《重力と恩寵》2016
 あいちトリエンナーレ2016、
 穂の国とよはし芸術劇場PLAT 写真: 怡土鉄夫
 © 2016 Aichi Triennale Organizing Committee



18 サントリー美術館

サントリーびじゅつかん

港区赤坂9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア3階 ☎03-3479-8600 🌐https://www.suntory.co.jp/sma/
 10:00～18:00(金・土曜日、9/17、11/2、11/22、2/11、2/22は20:00まで)
 火曜日(9/12、11/28は開館)、展示期間、12/4～1/30
 ①一般1,500円、大学・高校生1,000円、中学生以下無料 ②一般1,600円、大学・高校生1,000円、中学生以下無料



10/11(水)～12/3(日) ※①

激動の時代 幕末明治の絵師たち

江戸から明治へと移り変わる激動の19世紀、劇的で迫力ある造形や洋風表現を取り入れた画風、伝統と創意が結びついた表現など、多彩な作品が生まれました。本展では幕末明治期の絵師たちを集しその作品の魅力に迫ります。



両賊深山妖術競之図 歌川芳艶 大判錦絵三枚続
 万延元年(1860) 千葉市美術館
 【展示期間: 11/8～12/3】

1/31(水)～3/24(日) ※②

四百年遠忌記念特別展 大名茶人 織田有楽斎

織田信長の弟として天文16年(1547)に生まれた織田有楽斎は、信長、秀吉、家康のもとで武將として、また大名茶人として活躍しました。四百年遠忌にあたり、戦乱の世を生き抜いた有楽斎の人物像に迫ります。



大井戸茶碗 有楽井戸 朝鮮王朝時代
 16世紀 一口 東京国立博物館
 Image: TNM Image Archives

19 赤十字情報プラザ

せきじゅうじょうほうプラザ

港区芝大門1-1-3 ☎03-3437-7580 🌐https://www.jrc.or.jp/webmuseum/plaza/
 金・水・木曜日10:00～12:30、13:30～16:30
 金・土・日・月曜日、祝休日、12/29～2月初旬(予定) 無料 ※事前予約制



通年

常設展示

赤十字創始者アンリー・デュナンの「ソルフェリーノの思い出」(初版)、佐野常民・大給恒による「博愛社設立の願書」など、貴重な史料や医療救護資機材などを展示。人道支援の記憶と記録をたどります。



開催中～3/28(木)

企画展

関東大震災100年 温故備震(おんこびしん)

1923(大正12)年9月1日に発生した関東大震災から100年。日本赤十字社は、深刻な被害を受けながらすぐさま救援活動を開始。世界中から支援の手が差し伸べられました。人道の助け合いは時を超えて繋がるのです。



20 泉屋博古館東京

せんおくはくこかんとうきょう

港区六本木1-5-1 ☎050-5541-8600(ハローダイヤル)
 🌐https://sen-oku.or.jp/tokyo/ 11:00～18:00(金曜日のみ19:00まで)
 月曜日(祝日の場合は翌平日)、10/16～11/1、12/17～1/19(予定)
 大人1,000円、高校・大学生600円



9/2(土)～10/15(日)

企画展 楽しい隠遁生活 文人たちのマインドフルネス

中国・日本の文人たちの理想の隠遁空間をイメージした山水・風景画や、彼らが慕った中国の隠者たちの姿を描いた絵画作品とともに、清閑な暮らしの中で愛玩されたであろう細微な文房具なども併せて展示します。



岸田劉生《塘芽帖》
 昭和3年(1928)頃 泉屋博古館東京

11/2(木)～12/17(日)

特別企画展 日本画の棲み家

住友の日本画は、来客を迎える屏風や床映える掛軸など、「展覧会芸術」とは真逆の、柔らかな性質と吉祥の内容を備えています。床の間や座敷といった日本画の「棲み家」とそこに飾られる日本画の魅力を紹介しつゝ。



望月玉泉《雪中隠雁図》(右隻)
 明治41年(1908) 泉屋博古館東京

21 泉岳寺 赤穂義士記念館

せんがくじ あこうぎしきねんかん

港区高輪2-11-1 ☎03-3441-5560 🌐https://sengakuji.or.jp/
 9:00 ~ 16:00 展示替期間 大人500円、中・高生400円、
 小人(10歳以上)250円 ※義士木像館(隣接)との共通券



通年

常設展示

元禄15年義挙当日の12月14日に寺井玄溪あてに書かれた義士連盟書状や、討入り時に使用した籠手、鎖帷子など、四十七義士の遺品が多数展示されています。中でも吉良上野介を討取った時に間十次郎が用いた槍や、上野介の首を泉岳寺の僧侶二人が両国の吉良邸に返しに行ったときに受け取った「首請取状」は非常に貴重なもので、来館者に人気の収蔵品です。



赤穂義士記念館外観



内観

22 増上寺宝物展示室

ぞうじょうじほうもつてんじしつ

港区芝公園4-7-35 大蔵地下1階 ☎03-3432-1431(代) 🌐https://www.zojoji.or.jp/takara/
 平日11:00 ~ 15:00、土日祝休10:00 ~ 16:00 火曜日(祝休日の場合は開館)、~12月下旬
 一般700円、中・高生300円 ※徳川將軍墓所との共通入場券1,000円



通年 ※12月下旬まで休館

常設展示

展示の中心は、英国ロイヤルコレクション所蔵の徳川2代將軍秀忠公「台徳院殿靈廟模型」です。この模型は、1910年ロンドンで開催された日英博覧会の為に、当時の最高技術をもって細部まで忠実に再現され制作されました。また、江戸末期に活躍した狩野派の絵師・狩野一信により描かれた「五百羅漢図」や増上寺に残された寺宝の数々を展示しております。



Royal Collection Trust/c His Majesty King Charles III 2023

23 TEPIA先端技術館

てぴあせんたんぎじゅつかん

港区北青山2-8-44 ☎03-5474-6131
 🌐https://www.tepia.jp/exhibition/ 9:30 ~ 17:00
 月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始 無料 ※事前予約制



通年

常設展示

TEPIA先端技術館は、より良い未来社会をつくるために解決が必要な社会的課題と、その解決に役立つ先端技術を、子供から大人まで体験を交え、分かりやすく紹介する施設です。ワークショップエリアでは30分程度のワークショップに参加でき、初心者でも楽しみながらプログラミングを学ぶことができます。2Fには3Dプリンタやレーザー加工機などの工作機器を取り揃えたクリエイティブラボがあり、機器見学のほか、様々なプログラミング教材を体験できます。



24 21_21 DESIGN SIGHT

トゥーワン・トゥーワン・デザインサイト

港区赤坂9-7-6 東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン ☎03-3475-2121
 🌐https://www.2121designsight.jp/ 10:00 ~ 19:00 火曜日(12/26は開館)、
 年末年始(12/27 ~ 1/3) 一般1,400円、大学生800円、高校生500円、中学生以下無料



開催中 ~ 11/5(日)

11/23(木・祝) ~ 3/10(日)

Material, or

この世界に存在するありとあらゆる「マテリアル」と「もの」との関係に着目し、私たちとマテリアルのつながりをアートやデザイン、人類学の観点から紐解く展覧会です。最先端のマテリアルサイエンスについても紹介します。



もじ イメージ Graphic 展

国内外約40組のグラフィックデザイナーによるクリエイションの展示を中心に、漢字や仮名、縦書き、横書きなど特有の表現方法をもつ日本のグラフィック文化が、グローバルなデジタル情報技術とどう向き合ってきたかを紹介します。



もじ
イメージ
Graphic
展

25

東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム
とうきょうかいようだいがくマリンサイエンスミュージアム

港区港南4-5-7 東京海洋大学 品川キャンパス内 ☎03-5463-0430
https://www.s.kaiyodai.ac.jp/museum/public_html/
10:00 ~ 16:00 ☒土曜日、日曜日、祝休日、年末年始(12/29 ~ 1/3) ¥無料



開催中 ~ 11/6(月)

超深海へのトビラ 私たちが拓いた調査の軌跡

1958年の日本初の有人潜水船調査から、2017年の世界最深部マリアナ海溝調査、2022年の日本周辺に広がる超深海調査など、6,500mを超える超深海へ挑み続ける東京海洋大学の歴史と最新情報をご紹介します。超巨大ソコエビ ダイダラボッチの標本や調査の記録などを展示します。また、2022年の調査航海で採取した画像が「最も深い場所で確認された魚」としてギネス世界記録に認定されました。ギネス公式認定証もぜひご覧ください。



カイコウオオソコエビと
ダイダラボッチ



ギネス公式認定証

26

東京都庭園美術館
とうきょうとていえんびじゅつかん

港区白金台5-21-9 ☎050-5541-8600(ハローダイヤル)
https://www.teien-art-museum.ne.jp/ 10:00 ~ 18:00
月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始(12/28 ~ 1/4) ¥一般1,400円

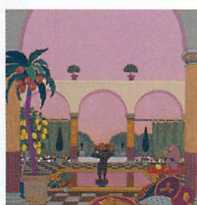


9/23(土) ~ 12/10(日)

装飾の庭 朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術

開館 40 周年を記念して開催する本展は、「庭園(jardin)」をキーワードに当館の建築や空間について読み解くと共に、戦前期フランスのアール・デコの動向についてご紹介するものです。

レイモン・シャルメゾン
「中庭」『貴重な庭園』1919年



2/17(土) ~ 5/12(日)

旧朝香宮邸を読み解くA to Z(仮)

当館本館である旧朝香宮邸の建築に関する専門用語や室内装飾を、AからZのキーワードに沿って発見的に読み解くことで、歴史・美術史的価値を理解しながら鑑賞できる展覧会です。

ルネ・ラリック シャンデリア《ブカレスト》
1933年(本館 大客室)



27

東京都立中央図書館
とうきょうとりつちゅうおうとしょかん

港区南麻布5-7-13 ☎03-3442-8451(代) https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/
10:00 ~ 20:45(土日祝休日は17:30まで) ※展示閲覧可能時間
第1木曜日、第3金曜日、年末年始(12/29 ~ 1/4) ¥無料



開催中 ~ 10/4(水)

本でたどるエジプト 古代文明から現代の暮らしまで

エジプトの魅力や日本との関わり(大エジプト博物館開館に向けたJICAの取組みなど)を、図書館の本や、大使館・JICAからお借りした写真パネル・展示品などを通してご紹介します。



10/28(土) ~ 11/12(日)

描かれた江戸城 東京文化財ウィーク2023参加企画展

重要文化財「江戸城造営関係資料」をはじめ、当館所蔵の様々な書物や浮世絵などに描かれた江戸城や江戸幕府の行事、儀式をご紹介します。会場では江戸城に関するクイズも開催し、回答された方全員に、記念品をプレゼントします。

江戸御城御殿守正面之絵図



28

東京ミッドタウン・デザインハブ
とうきょうミッドタウン・デザインハブ

港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー 5F ☎03-6743-3776
https://designhub.jp/ 11:00 ~ 19:00(ギャラリー企画展)
企画展開催中は無休 ¥無料



9/1(金) ~ 10/19(木)

日本のグラフィックデザイン2023

年鑑『Graphic Design in Japan』2023年版より、作品300点を展示。身近な雑貨から、書籍、商品パッケージ、シンボル・ロゴ、ポスター、映像や空間デザインまで、世界に誇る日本のグラフィックデザインの現在をご覧ください。



展示風景(2022)

1/10(水) ~ 2/25(日)

ゼミ展2024—Alternative—(仮)

全国の教育機関で取り組まれているデザインの課題内容と作品を展示。社会でどのようなデザイン/デザイナーが必要とされているのか、これからデザインの最前線に出ていく学生たちがどのように課題に向き合っているのかを紹介します。



展示風景(2023)

Museum Information

29 TOTOギャラリー・間

トートーギャラリー・ま

📍港区南青山1-24-3 TOTO乃木坂ビル3F 📞03-3402-1010
🌐https://jp.toto.com/galleria/ 🕒11:00 ~ 18:00(ナイトツアー開催日は20:00まで
※ホームページにてご確認ください) 🗓️月曜日、祝休日、展示替期間(11/27 ~ 1/17) 🎫無料



9/14(木) ~ 11/26(日)

西澤徹夫 偶然は用意のあるところに

「京都市京セラ美術館」(※1) や「八戸市美術館」(※2) をはじめとする文化施設や美術展の会場構成など美術館関係の仕事を数多く手掛けている建築家・西澤徹夫氏の初の個展です。

共同設計者：※1青木淳建築計画事務所、

※2浅子佳英、森純平

展覧会ポスター



1/18(木) ~ 3/24(日)

能作文徳+常山未央展

自宅兼事務所の「西大井のあな」で実験を重ね、太陽、土壌、微生物、廃棄物とともに生命力のある居住域を築いている、ふたりの建築家の展覧会。都市のなかで、建築のつくり方自体をデザインする彼らの実践とビジョンを紹介します。

「杭とトンガリ」外観 ©Jumpei Suzuki(東京都、2023年)



30 虎屋 赤坂ギャラリー

とらや あかさかギャラリー

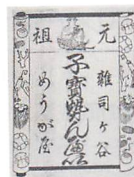
📍港区赤坂4-9-22とらや赤坂店地下1階 📞03-3408-2402(虎屋文庫)
🌐https://www.toraya-group.co.jp/shops/shop-5#gallery
🕒展覧会により異なります 🗓️毎月6日、展示替期間 🎫無料



10/1(日) ~ 11/23(木・祝)

虎屋文庫50周年記念！ 「和菓子の〈はじめて〉物語」展

最初は「鶏焼」(うずらやき) や「腹太餅」(はらぶともち) と呼ばれていた大福。カステラや金平糖など南蛮菓子のレシピが多かった、版本として日本初の菓子製法書。笹餅をはじめて食べた夏目漱石の意外な感想ほか、楽しく美味しいエピソードの数々を、豊富な資料や本物の菓子などとともにご紹介します。



「元祖」と書かれた菓子の商標



御饅頭所看板

31 ニコンミュージアム

ニコンミュージアム

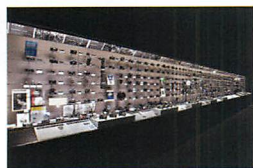
📍港区港南2-15-3 品川インターシティ C棟2階 📞03-6433-3900
🌐https://jp.nikon.com/museum/ 🕒10:00 ~ 17:00
🗓️月曜日、日曜日、祝休日、当館の定める日 🎫無料



通年

常設展示

ニコンミュージアムは、2017年に迎えたニコンの創立100周年を記念し、2015年にオープンした施設で、ニコンの各事業の歴史、製品、技術などを展示しています。迫力のカメラやレンズ約1000台の展示は圧巻です。



開催中 ~ 2/29(木)

企画展 AI NIKKOR の魅力 ~ニコン社員による写真展~

一眼レフカメラ用交換レンズ「NIKKOR」のうち1977年から販売された「AI NIKKOR」は現在でも多くの写真愛好家に使用されています。そのレンズで撮影した写真作品約80点と、撮影に用いたレンズ約80本を展示しています。



展示作品より

32 根津美術館

ねづびじゅつかん

📍港区南青山6-5-1 📞03-3400-2536 🌐https://www.nezu-muse.or.jp/
🕒10:00 ~ 17:00 🗓️月曜日(祝休日の場合は翌平日)、展示替期間、年末年始(12/25 ~ 1/4)
🎫¥1,800円 ※オンライン日時指定予約制



11/3(金・祝) ~ 12/3(日)

特別展 北宋書画精華

中国・北宋時代を代表する画家の一人、李公麟(1049? ~ 1106)の幻の真作「五馬図巻」(現・東京国立博物館蔵)が約80年ぶりに再出現したことを契機とし、日本に伝存する同時代の名品を一堂に集めます。またアメリカ・ニューヨークのメトロポリタン美術館から、李公麟の白描画の基準作といえる「孝経図巻」が特別出品されます。北宋の書画芸術の真髄に迫る日本で初めての展覧会は、きっと伝説になるはずです。



重要美術品 「五馬図巻」(部分)
李公麟筆 中国・北宋時代 11世紀
東京国立博物館蔵
Image: TNM Image Archives



「孝経図巻」(部分)
李公麟筆 中国・北宋時代 元豊8年(1085)頃
アメリカ・メトロポリタン美術館蔵

33 畠山記念館

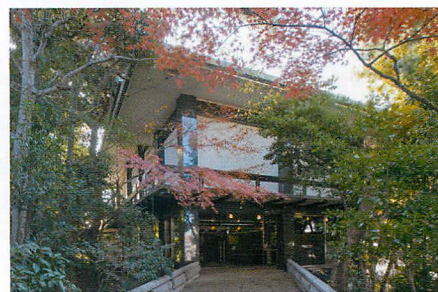
はたけやまきねんかん

港区白金台2-20-12 【仮事務所】大田区南蒲田1-1-22 サテライトEビル7階
☎03-6424-8431
🌐<https://www.ebara.co.jp/foundation/hatakeyama/>



長期休館中

畠山記念館は、株式会社 荏原製作所を興した畠山一清(号 即翁)(1881～1971)が創設した美術館で、茶道具を中心に、書画、陶磁、漆芸、能装束など、国宝6件、重要文化財33件を含む約1300件を収蔵しています。苑内には5つの茶室(旧畠山一清邸)があり、港区の有形文化財(建造物)として指定されています。現在は、施設改築工事のため、長期休館中です。



畠山記念館本館 photo ©Eiji INA

34 パナソニック汐留美術館

パナソニックしおどめびじゅつかん

港区東新橋1-5-1 ☎050-5541-8600(ハローダイヤル) 🌐<https://panasonic.co.jp/ew/museum/>
🕒10:00～18:00(9/1、9/15、9/16、11/10、12/1、12/15、12/16は20:00まで)
🗓水曜日(9/13、12/13は開館)、展示替期間(9/19～10/6、12/18～1/10)
🎫一般1,200円、65歳以上1,100円、大学・高校生700円、中学生以下 無料



10/7(土)～12/17(日)

開館20周年記念展 コスチュームジュエリー

美の変革者たち シャネル、スキャパレッリ、ディオール 小瀧千佐子コレクションより

20世紀はじめ、ポール・ポワレが嚆矢となり、シャネルによって広く普及したコスチュームジュエリー。宝石や貴金属といった素材の既成概念から解放され、優れたデザインや衣服との組合せの魅力によりパリのモード界では不可欠の要素となり、やがてアメリカへも伝わりました。本展はコスチュームジュエリーの展開を包括的にご紹介する日本初の展覧会です。国内随一のコレクションから、400点を超える作例をご紹介しますとともに、各デザイナーが生み出したそれぞれの様式美を探ります。

ポール・ポワレ
《夜会用マスク プレスレット「深海」》
1919年 メタリックチュールに
ガラスビーズとクリスタルビーズで刺繍
(製作: マドレーヌ・パニゾン)
小瀧千佐子蔵



35 フジフィルム スクエア

フジフィルム スクエア

港区赤坂9-7-3 ☎03-6271-3350(10:00～18:00) 🌐<https://fujifilmsquare.jp/>
🕒10:00～19:00 🗓年末年始(12/29～1/3) 🎫無料

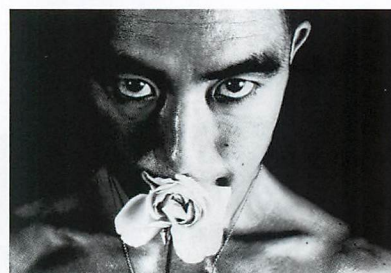


9/28(木)～12/28(木)

生誕90年記念 細江英公 作品展

「この写真家の熱量を観よ!」

戦後日本の写真界の中心的存在として、世界的に高く評価されてきた日本人写真家の一人である細江英公氏の1950-70年代の代表的な4つのシリーズから精選した約30点の、貴重なヴィンテージプリントを展示します。本展で展覧される細江氏自身の「ヴィンテージプリント」を通じ、写真家細江英公氏が、写真にかけてきた、ほとばしる熱量を感じてください。



《薔薇刑 #32》1961年 ©Eikoh Hosoe

36 物流博物館

ぶつりゅうはくぶつかん

港区高輪4-7-15 ☎03-3280-1616 🌐<https://www.lmuse.or.jp/>
🕒10:00～17:00 🗓月曜日・第4火曜日(祝休日の場合は翌平日)、祝休日の翌日、
展示替期間、年末年始(12/25～1/4) 🎫大人200円、65歳以上100円、中学生以下無料



10/28(土)～1/21(日)

鉄道貨物輸送150周年記念

汐留駅にみる貨物鉄道と通運のあゆみ

明治6年(1873)9月15日に新橋―横浜間で貨車を用いた鉄道貨物輸送が開始されて、今年で150周年を迎えます。貨物鉄道の歴史は、同時に始まった鉄道貨物取扱業(通運事業)の歴史でもありました。本展では節目の年を記念し、鉄道開業の地・新橋駅について取り上げ、大正3年(1914)に貨物専用駅・汐留駅となり、昭和61年(1986)に廃止されるまでの歴史を、貨物鉄道と通運事業の2つの視点から紹介します。



汐留駅 1970年代初頭

Museum Information

37 紅ミュージアム

べにミュージアム

📍港区南青山6-6-20 K's南青山ビル1階 📞03-5467-3735
🌐https://www.isehanhonten.co.jp/museum/ 🕒10:00 ~ 17:00
🗓️日曜日、月曜日、年末年始 🎫無料



9/5(火) ~ 10/14(土)

手仕事ギャラリー

5 colors —うるわしの九谷焼作家たち—

石川県能美市ゆかりの絵付作家5名の作品展。伝統的な技法やデザインをそれぞれの表現へと昇華させた、うるわしの九谷焼作品をお楽しみください。

※前後期で紹介する作家が変わります。



(9/5 ~ 9/23)
西野美香、早助千晴

(9/26 ~ 10/14)
河田里美、関あづさ、相川志保

9/12(火) ~ 10/28(土)

テーマ展示

必見! 真綿の綿帽子

今日、和装の婚礼で目にする綿帽子は、もともと防寒・防埃用の被り物でした。その装飾化が進んだのは江戸時代以降のことです。今回ご紹介するのは、和紙のように薄く引き伸ばした真綿に、胡粉で文様をつけた綿帽子です。併せて帽子針も展示します。

38 マクセル アクアパーク品川

マクセル アクアパークしながわ

📍港区高輪4-10-30(品川プリンスホテル内) 📞03-5421-1111(音声ガイダンス)
🌐https://www.aqua-park.jp/ 🕒ホームページにてご確認ください 🗓️無休
🎫高校生以上2,500円、小・中学生1,300円、幼児(4才以上)800円
※一部対象日は、日時指定チケットの取得が必要です。



開催中 ~ 10/22(日)

NAKED 花火アクアリウム

プロジェクションマッピングで描く無数の花火が展示やパフォーマンスを彩る期間限定イベント。音・光・水のアートが織りなす、海の世界の花火大会をお楽しみいただけます。また、縁日屋台の雰囲気味わえる、ドリンク・フードメニューもご用意。ドルフィンパフォーマンスはゲスト参加型のダイバーと、会場が360°花火のデジタルアートにつつまれるナイトver.の2種プログラムを開演します。



39 松岡美術館

まつおかびじゅつかん

📍港区白金台5-12-6 📞03-5449-0251 🌐https://www.matsuoka-museum.jp/
🕒10:00 ~ 17:00(第1金曜日のみ19:00まで) 🗓️月曜日(祝休日の場合は翌平日)、
年末年始(12/29 ~ 1/4) 🎫一般1,200円、25歳以下500円、高校生以下無料



10/24(火) ~ 2/11(日)

アメイジング・チャイナ
深淵なる中国美術の世界



同時開催

昭和の日本画と洋画

松岡翁(1894-1989) 晩年の眼力

北齊~唐時代の小金銅仏とともに、明~清時代の漆器、陶磁器、玉器、絵画を紹介いたします。超絶技巧を堪能できる《翡翠白菜形花瓶》や館蔵明清絵画から選りすぐった画卷・画冊の優品をご覧ください。

※12/12 ~ 一部展示替あり。

翡翠白菜形花瓶



70代後半から海外オークションに参加してコレクションを充実させていった創設者 松岡清次郎は、現代作品発表の場である日展や院展などの団体公募展にも関心を持ち、優品を選びました。日本画10件、洋画18件を出品します。

鳥頭尾精《上居への道》昭和56(1981)年 第8回創画展



40 港区立郷土歴史館

みなとくりつきょうどれきしかん

📍港区白金台4-6-2 📞03-6450-2107 🌐https://www.minato-rekishi.com/
🕒9:00 ~ 17:00(土曜日のみ20:00まで) 🗓️第3木曜日、年末年始(12/29 ~ 1/3)
🎫常設展: 大人300円、小・中・高校生100円 特別展・企画展: ホームページにてご確認ください



10/14(土) ~ 12/10(日)

特別展 ある図案家の仕事
—宮中の染織デザイン—



港区に長年居住した図案家・中山宜一(ぎいち)(1884-1970)は工芸学校で図案を学び、独立後は皇室のデザインに携わりました。彼ののこした図案帖『國華』を中心に、図案家の多種多様な仕事をひもときます。



カーテンクロス及椅子張用裂地
交華紋織花模様

1/13(土) ~ 3/10(日)

企画展

未来に伝えよう! みなと遺産



港区は、歴史的環境に恵まれており、地域の歴史や文化を伝える多くの文化財が残されています。本展では、令和5年度港区指定文化財を紹介します。あわせて昔の暮らしに利用された道具に関する展示も行います。

41

港区立みなと科学館

みなとくわつみなとかがくかん

📍港区虎ノ門3-6-9 📞03-6381-5041(代表) 🌐https://minato-kagaku.tokyo/
🕒9:00～20:00 📅第2月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3)
🎫プラネタリウムのみ有料 大人600円、小・中・高校生100円



開催中～9/10(日)

通年

2023夏の企画展 科学で楽しむ妖怪展

プラネタリウム

今回の企画展では、妖怪や妖怪のしわざとされてきた様々な事象について、古生物学、自然科学、哲学といった科学館ならではの視点から紹介します。また、本企画展の開催期間中には、来館者に探究心の原動力である、ふしぎと感ずること、なぜだろうと疑問を持つきっかけを体験頂く参加型のイベントも多数実施いたします。

800万個を超える星を映し出す光学投影機と4Kデジタル全天周映像を組み合わせたハイブリッドプラネタリウム。みなと科学館でしか観られないオリジナル映像作品や、解説員による星空生解説もお楽しみください。



42

明治学院歴史資料館

めいじがくいんれきしりょうかん

📍港区白金台1-2-37 📞03-5421-5170 🌐https://shiryokan.meijigakuin.jp/
🕒9:00～16:00 📅土曜日、日曜日、祝休日、学院の定める休日、年末年始(12/23～1/8)
🎫無料



開催中～1/9(火)

1/15(月)～3/15(金)

企画展示 賀川豊彦と明治学院

明治学院に学んだ賀川豊彦(1888-1960)は、スラムでの伝道、関東大震災のボランティア活動や生活協同組合の設立など様々な活動を通じ社会に貢献しました。本展示では、賀川豊彦と明治学院について取り上げ、ご紹介します。



賀川豊彦肖像写真
明治学院歴史資料館

企画展示 井深梶之助展 第一期

明治学院第二代総理をつとめ、明治・大正期の教育界・キリスト教界を牽引してきた井深梶之助(1854-1940)の生誕170年を記念し、井深梶之助日記とその周辺資料をパネルと原資料でご紹介します。



書斎の井深梶之助
明治学院歴史資料館

43

森美術館

もりびじゅつかん

📍港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 53階 📞050-5541-8600(ハローダイヤル)
🌐https://www.mori.art.museum/ 🕒10:00～22:00(火曜日のみ17:00まで) 📅会期中無休
🎫平日(土日祝日)一般2,000円[2,200円]、大学・高校生1,400円[1,500円]、中学生以下(4歳まで)800円[900円]、65歳以上1,700円[1,900円] ※オンライン購入割引あり



開催中～9/24(日)

10/18(水)～3/31(日)

森美術館開館20周年記念展 ワールド・クラスルーム:現代アートの国語・算数・理科・社会

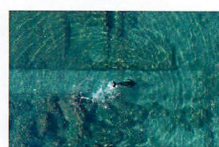
森美術館開館20周年記念展 私たちのエコロジー:地球という惑星を生きるために

学校で習う教科を現代アートの入り口に、未知の世界に出会い、学ぶ、まさしく美術館が「世界の教室」となる展覧会です。森美術館のコレクションを中心に、54組の国内外のアーティストの作品を紹介します。



ヤン・ヘグ
展示風景:「ワールド・クラスルーム:現代アートの国語・算数・理科・社会」
森美術館(東京)2023年 撮影:古川裕也 画像提供:森美術館

人類共通の課題である環境危機に対し、現代アートはどう向き合うのか。世界のアーティスト約35人の表現をとおして未来の可能性を考えるとともに、環境に配慮した展示デザインでサステナブルな展覧会を目指します。



エミリア・シュカルヌリーテ
《沈んだ都市》2021年

44

ヤマトグループ歴史館 クロネコヤマトミュージアム

ヤマトグループれきしかん クロネコヤマトミュージアム

📍港区港南2-13-26 📞03-6756-7222
🌐https://www.yamato-hd.co.jp/museum/ 🕒10:00～17:00 📅月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始(12/25～1/3) 🎫無料



通年

常設展示

ヤマトグループが創業100周年を迎えたことを記念して設立しました。1919年の創業からお客さまと共にあゆみ、お客さまの生活や世の中の移り変わりとともに成長してきた歴史をたどりながら、訪れた皆さまが歩んできた歴史と一緒に振り返っていただける施設です。4つの時代の歴史展示の他、大型ワイドスクリーンのシアターや本物の宅急便集配車「ウォークスルー車」に乗っていただける体験コーナー等をお楽しみください。



宅急便の時代



宅急便体験コーナー



開催中～ 9/24(日)

10/24(火)～2024/9/23(月・祝)

ピカソのセラミック―モダンに触れる

ピカソと20世紀美術の代表的な研究者である河本真理氏を監修者にお迎えし、ピカソのセラミックの世界を、いま改めて「モダン」一言い換えれば「クラシック」と融合する「モダン」一の視点から読み解く、刺激的な展覧会です。



ピカソ いのちの讃歌

当館のコレクションをご紹介する展覧会の第4弾。ピカソのセラミック作品にあふれる「生命力」の根源となる、生きとし生けるものに対する深い愛情と共感を、さまざまなモチーフを手がかりに掘り下げる展覧会です。



© 2023 - Succession Pablo Picasso - BCF (JAPAN)

招待券プレゼント



「招待券プレゼント」マーク

「招待券プレゼント」マークのある展覧会にそれぞれ10組20名様をご招待いたします。

ご応募は港区民または港区在勤・在学の方に限ります。

●応募締切 2023年10月2日 必着 2023年11月30日 必着

●応募先 〒108-0071 港区白金台 4-6-2 港区立郷土歴史館
港区ミュージアムネットワーク事務局

※応募者多数の場合は抽選となります。応募状況によりご希望の展覧会以外のご招待になる場合があります。

※お1人様何枚でも応募できますが、当選は1展覧会につき1枚のみとなります。

※応募された展覧会が諸般の事情により開催されない場合は、応募は無効となります。ご了承ください。

●応募方法 **必ず往復はがきにて、ご応募ください。**

▶料金不足の場合は、そのまま返送させていただきます。

▶消えるボールペンでの記入はご遠慮ください。返信面印刷時に熱で消える可能性があります。

▶必要事項の一部が未記入の際は、無効となる場合があります。

往復はがき記入例

返信宛先		返信文面	
63	0000-0000	①ご希望の ●展覧会の名称 ●館名 ②ご住所 ●港区民の方▶お住まいのご住所 ●港区在勤の方▶お住まいのご住所、勤務先名、勤務先ご住所 ●港区在学の方▶お住まいのご住所、学校名 ③あなたの氏名	●港区民の方 ②港区0000 0-0-0 ●港区在勤の方 (お住まいのご住所) ②000区0000 0-0-0 (勤務先名) 株式会社0000 港区0000 0-0-0 ●港区在学の方 (お住まいのご住所) ②0000000 0-0-0 (学校名) 000000 学校
63	108-0071	港区立郷土歴史館 港区ミュージアムネットワーク事務局	白紙のまま

Museum Map

ミュージアム マップ



次号予告

次号No.37は
2024年3月1日
発行予定です。

- | | | |
|--------------------------|-------------------------|-----------------------------|
| 01 秋山庄太郎写真芸術館 | 16 国立科学博物館附属自然教育園 | 31 ニコミュージアム |
| 02 味の素の文化センター 食の文化ライブラリー | 17 国立新美術館 | 32 根津美術館 |
| 03 アドミュージアム東京 | 18 サントリー美術館 | 33 畠山記念館 |
| 04 NHK放送博物館 | 19 赤十字情報プラザ | 34 パナソニック汐留美術館 |
| 05 大倉集古館 | 20 泉屋博古館東京 | 35 フジフィルム スクエア |
| 06 岡本太郎記念館 | 21 泉岳寺 赤穂義士記念館 | 36 物流博物館 |
| 07 外務省 外交史料館 | 22 増上寺宝物展示室 | 37 紅ミュージアム |
| 08 菊池寛実記念 智美術館 | 23 TEPIA 先端技術館 | 38 マクセル アクアパーク品川 |
| 09 気象庁 気象科学館 | 24 21_21 DESIGN SIGHT | 39 松岡美術館 |
| 10 北里柴三郎記念館 | 25 東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム | 40 港区立郷土歴史館 |
| 11 旧新橋停車場 鉄道歴史展示室 | 26 東京都庭園美術館 | 41 港区立みなと科学館 |
| 12 共同通信社 ニュースアート | 27 東京都立中央図書館 | 42 明治学院歴史資料館 |
| 13 慶應義塾大学アート・センター | 28 東京ミッドタウン・デザインハブ | 43 森美術館 |
| 14 福澤諭吉記念 慶應義塾史展示館 | 29 TOTOギャラリー・間 | 44 ヤマトグループ歴史館 クロネコヤマトミュージアム |
| 15 慶應義塾ミュージアム・コモンズ | 30 虎屋 赤坂ギャラリー | 45 ヨックモックミュージアム |

2023年9月1日発行 港区ミュージアムネットワーク No.36

編集・発行：港区ミュージアムネットワーク事務局 〒108-0071 東京都港区白金台4-6-2 港区立郷土歴史館 電話 03-6450-2107